



校長室から

平和の好循環

校長 市丸佐緒里

2025年(令和7年)、今年は巳年です。蛇はあまり好きな人はいないかもしれませんが、再生や神秘、知恵、そして変容を象徴する動物として古くから世界中で崇められてきました。また地域によっては、家の守り神、神の使いや、金運の象徴とあがめられたり、夢に出てくれば長寿、出世、縁結び、大漁など良い兆ありとの言い伝えもあるようです。また、脱皮を繰り返し、成長することから、巳年は新しいことへの挑戦や変化を乗り越えて成長する年ともいわれます。皆さんにとって2025年がよい年であることを祈念いたします。

さて、3学期の始業式で生徒のみなさんへお伝えしたいことをここでも少し述べたいと思います。それは「平和」についてです。今年には太平洋戦争が終結から80年の節目の年を迎えます。昨年12月には日本(あえて日本がと書きますが正しくは日本原水爆被害者団体協議会)がノーベル平和賞を受賞し、核兵器廃絶と不戦の誓いを新たにしましたが、そのような時にもロシアとウクライナなど、世界のあちこちで紛争は続いています。私たちは戦争を遠い過去のこと、異国のこととして考えることをあきらめず、関心を持ち続けていかなければと思います。戦争を始めるのも人、戦争をするのも人であり、常に人が陥る思考の偏りや差別・排除、人権侵害がないかを意識して見守り合うことが平和を持続するカギになると思います。

広島の小学生在が「平和とは、争いや戦争がないこと。差別をせず、違いを認め合うこと。悪口を言ったり、けんかをせずみんなが穏やかに笑顔になれること」と伝えていきます。とても分かりやすい優しい表現で、私たちにもできる平和の好循環を生む方法を教えてくれています。日常生活において、自分の身近な人との関係性を敵や味方、善と悪、正しい正しくないと境界線を引く癖をつけていませんか？境界線を引いて自分とは関係のない違うものとして分けたり、背中を向けると楽なのですが、人間関係はどんどん距離でき、溝が深まる「冷たい戦争」状態に陥ることになります。日々の学校生活において、平和的に物事を解決する訓練をしながら平和的思考の癖をつけていく。今、自分の隣にいる人・関りのある人、クラスの仲間や部活動の仲間と、平和な関係を築く努力をすることが大切だと思うのです。平和の好循環をまずは自分から始めてみませんか。



後 期 ク ラ ス マ ッ チ

12月23日(月)、後期クラスマッチを開催しました。2年生が学年閉鎖のため残念ながら参加できませんでしたが、各クラス数チームに分かれ、バスケットボールで勝敗を競いました。熱戦が繰り広げられました。決勝戦は3年生チーム同士の対決となり、高校生活最後のクラスマッチとなる3年生にとって良い思い出となりました。



試 合 結 果 (サッカー)

令和6年度長崎県高等学校新人体育大会
(第59回) サッカー競技佐世保地区予選
予選リーグ
VS 佐世保東翔 4-0 勝ち
VS 鹿町工業 5-0 (不戦勝)
VS 合同(猶興館・高専・波佐見) 0-2 負け
代表決定トーナメント
VS 佐世保南 3-0 勝ち
VS 佐世保北 0-3 負け



表 彰

『かんたん朝ごはんレシピコンテスト』

高校 ごはん・パン部門 入選

栗山佳奈さん



高校 しるもの部門 入選

浦田伊織さん 藤澤広大さん



高校 しるもの部門 事務局賞

林 生織さん



『税に関する高校生の作文』

優秀賞

七種朝香さん 堤 清花さん



『総合学科生徒課題研究発表会』

優秀賞

山口愛子さん 井上碧海さん



2 月 の 主 な 行 事 予 定

7日(金) 第19回総合学科発表会
12日(水) 合格体験発表
14日(金) ジョブガイダンス
18日(火) 高校入試一般選抜(~19日)
25日(火) 学年末考査(~5日)(1・2年)
28日(金) 卒業生表彰式
同窓会入会式

